

# コーディネーター通信

小・中学部用 第25号 平成24年2月3日  
三重県立稲葉特別支援学校 特別支援部発行

## ことばを育てる

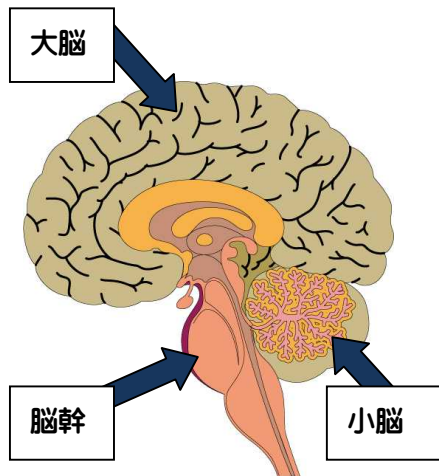


図1. 脳の断面図

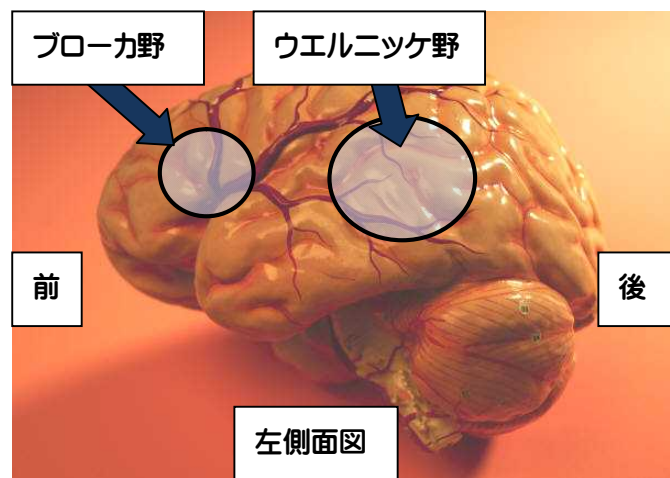


図2. 脳の模型

保護者の皆様の「掲載してほしい情報や内容」のアンケート結果の中に「ST（言語療法）」とありました。簡単ですが、今回は、「ことば」について考えてみたいと思います。

ことばを話したり、理解するのは、脳のはたらきによるものです。ことばのはたらきは、大脳の左半球がかかわっています。

ことばを考えたり、発声発語をつかさどるのは、ブローカ野と呼ばれるところで左耳のちょっと前上のあたりにあります。

ことばを聞いて理解する言語野は、左耳の後ろ、下のほうにあるウエルニッケ野です。

睡眠、覚醒のリズムをコントロールしているのが脳幹です。脳幹のはたらきがことばを育てる基礎なので、早寝、早起き、ご飯を食べる、元気に遊ぶことが大事です。ですから「食う、寝る、遊ぶ」が子どもにとって大切な活動です。

大脳の言語野のはたらくために、毎日繰り返される暮らし、それ自体がことばへの準備となります。毎日の生活をひとつずつ丁寧に見直すことが大事です。

# ことばは生活の中で育まれる。

<p>構音器官 の訓練</p>	 <p>なめる      すう      かむ      飲み込む      ぶく</p>
<p>ことばを 教える</p>	 <p>「イヌよ!」 「ふわふわ してるね」 「イヌは ふわふわ してるよ!」</p> <p>実物      経験にことばをそえる      理解をすすめる</p>
<p>ことばで 分かりあ う</p>	 <p>「やったね!」      「やったね!」</p> <p>共感のことばを多く</p>
<p>豊かな体 験・経験</p>	<p>触れる 感動する 見る 味わう</p>  <p>身近自立</p> 
<p>手を使う あそぶ</p>	<p>手を使う</p>  <p>楽しくあそぶ</p>
<p>情緒の発 達</p> <p>規則正し い生活</p>	 <p>「よくかんで!」</p> <p>安定した親子関係      良く寝る      食事の時間を一定に</p>

※「発達障害とことばの相談」P81 図3を著者により一部改変

# 障がいのある子どもたちへの AAC (補助代替コミュニケーション)

AAC とは音声言語の代わりに、絵カードやパソコン、ジェスチャー、絵文字、指文字など、あらゆる手段を通じて、気持ちを伝え、コミュニケーションを図るというものです。

実は AAC を使うことにより、ことばの発達が促進されるという研究が数多くだされています。話しことばの獲得が遅れている子どもに対し、適切な時に AAC 手段を導入することで、話しことばを学習するための架け橋になることが十分にわかってきました。知的障がい児への AAC 手段の指導は、ことばの獲得を促す方法でもあるのです。もちろんことばが出ない子どもにとってはなおさらです。

TEACCH や PECS、支援ツールといった、絵カードや写真カード、シンボル等を使ったコミュニケーション手段も全国の特別支援学校で取り組まれています。言葉は消えてなくなってしまうますが、絵はなくなり、そこにあり続けることができることも分かりやすさの要因です。

知的障がいのある子どもに対しては、ことばを言いなおさせたりするのではなく、出したことばを認め、正しいことばを大人が後で伝えてあげることが良いと言われています。叱られて、自信を失わせたり、いやいやことばを出させるのではなく、自然に楽しい雰囲気の中で、自発的に出したいという欲求が生まれるような環境を育てることが大切です。また、チャンスを失うことなく、ことばだけでなく様々な手段で伝える方法があるということを教えてあげ、子どもの声にならない思いを理解できるようにしたいものです。

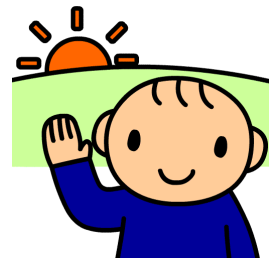


## 「おはようございます。」

朝からの出張のない時は、小中学部の昇降口から一步上がったところに立ち、その日の子ども達の様子を観察しています。いつもと比べ表情はどうか、子ども達の靴の履き替えはどうか、学校へ嬉しそうに登校してきたかな・・・。

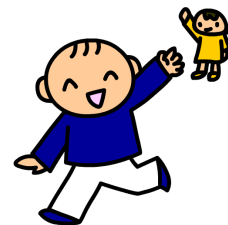
私が立っている場所は、必ず中学部の子ども達も通るところなので、顔を見て、目を見て、あいさつをするように心がけています。できる限り、「おはよう」「いってらっしゃい」「がんばってね」この3つのことばを丁寧に伝えるようにしています。

最初はこの人誰だろう？という表情だった子ども達も少しずつ分かってきたようで、「おはよう」と言葉を交わしてくれるようになってきました。先生達も子ども達の代わりに「おはようございます。」と子ども達に聞こえるように協力してくれています。また、小学部の子ども達の中には、正面に立ち膝を曲げて頭を下げる子や



腰を曲げる子、わざわざ遠くから私を見つけて、あいさつをしに来てくれる子もいます。ことばがなくてもその表情と態度で十分に伝わります。

さて、子ども達が「おはよう」とことばをかけてもらう機会はどれだけあるのでしょうか。家ではどうですか？「ほら、あさよ！」「はやくおきて！」「学校はじまるよ！」朝のバタバタした時間、ゆっくりと「おはよう」とあいさつを交わすことも難しいかもしれません。でも、保護者の方が笑顔で言う「おはよう」が一番です。ぜひ、今日も素敵な1日のスタートだよと教えてあげてください。



## 「本の紹介」

最近、「ことばの遅れ」に関する書籍も多数出版されています。大型書店やインターネットで調べてみるとニーズに合った書籍も見つかると思います。今回の通信作成で活用した書籍を3冊紹介します。



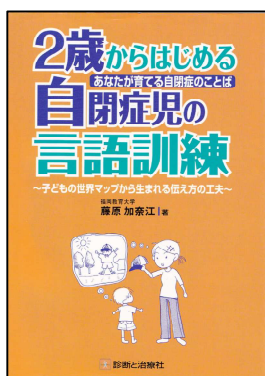
### ことばの遅れのすべてがわかる本

中川信子監修  
1200円(税別)  
健康ライブラリーイラスト版  
講談社



### 発達障害とことばの相談

子どもの育ちを支える言語聴覚士のアプローチ  
中川信子著  
740円(税別)  
小学館 101 新書 047  
小学館



### 2歳からはじめる自閉症児の言語訓練

あなたが育てる自閉症のことば  
～子どもの世界マップから生まれる伝え方の工夫～  
藤原加奈江著  
1900円(税別)  
診断と治療社